



令和8年1月9日

報道機関 各位

採用・育成・定着 戦略フォーラム 2025

上田市では、「若者・移住者・学卒者の就職支援事業」の「学卒者支援部分」の一環として、「採用・育成・定着 戦略フォーラム 2025」を開催します。

学生の就業意識のリアルや、取り組み事例の紹介など、企業間で情報共有し、学生のU I Jターン就職促進を地域全体で考えるイベントです。

詳細は、以下、別添資料のとおりです。

<日 時> 1月23日（金）14：00 から 17：30 まで

（終了後に交流会：希望者、会費制）

<場 所> 信州大学O V I C

（オープンベンチャー・イノベーションセンター：上田市踏入 2-16-24）

<参加者> 長野県内の企業・団体の総務担当者（現在募集中。1月16日期限）

<事業内容> ・長野県の学生・若手社員の就業意識調査の報告

・地元企業3社による実践事例の紹介

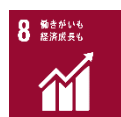
・グループディスカッション

※ お問い合わせは、右記担当までご連絡ください。

上田市は「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



本件に関する問合せ先
上田市 産業振興部 地域雇用推進課
課長 石山（担当 斎藤）
Tel 0268-26-6023
koyo@city.ueda.nagano.jp

事業委託先
一般財団法人 浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）
（専属コーディネーター：尾島）
Tel 0268-21-4377

上田市、東信州地域企業の採用・育成・定着を加速化

～戦略フォーラムで企業間の情報共有へ～

【概要】

東信州次世代産業振興協議会(事務局:上田市)と一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)は、2026年1月23日に「採用×育成×定着 戦略フォーラム 2025」を開催する。

【背景】

ARECは産学官連携支援で25年の実績がある中で、「企業間の情報交換」「学の就職担当者と企業間の情報交換」「地域企業への就職支援」を目的として、2007年2月1日に「人事・総務ネットワーク 第1回会議」を開催して以降、採用・育成・定着に関する取り組みを継続してきた。

その中で2025年1月17日、この課題を地域全体で解決すべく、新たに第1回「戦略フォーラム」として開催した。県内企業や団体の人事・総務担当者が計68名(31社38名+関係機関)参加。地方の中小企業における若手育成に関する講演や、5大学のキャリア支援担当者と地元企業2社による「就職活動の最新動向」に関するパネルディスカッションなどが行われた。

中でも、終了後アンケートで特に高評価だったのが、企業間による「グループディスカッション」だった。5～6名の10グループに分かれ、テーマ①「採用」(採用力を引き上げるための課題)とテーマ②「育成・定着」(特に若手や中堅が働きやすい環境の作り方)に関し、約40分間ディスカッションした。

テーマ①については、・技術系職種の応募者が少ない・学生との接点が少ない、などの課題が挙げられ、それに対し・技術知識のない人材をゼロから育成する・SNSや動画を活用した情報発信の強化、などの取り組みが紹介された。テーマ②については、・研修プログラムが時代に遅れている・若手社員とのコミュニケーション不足などの課題に対し、・定期的な面談の場を設定・物理的な壁を取り払ったオフィスレイアウトの導入、などの意見が出された。

付箋を活用して議論内容を整理し、最後に各グループが発表、活発な意見交換が行われた。まとめた模造紙がホワイトボードに掲示されたことで、イベント後の交流会でもこの内容が話題になり、議論が交わされた。

(参考 URL: <https://arecplaza.jp/archives/1479>)

【グループディスカッションの様子】



以上の流れをふまえ、第 1 回の内容をさらに発展させ、より実践的かつ双方向の学びを重視した第 2 回のプログラムとして、2026 年 1 月 23 日に「採用×育成×定着 戦略フォーラム 2025」を開催することとなった。特に本年度からは、上田市産業振興部地域雇用推進課による「若者・移住者・学卒者の就職支援事業」(学卒者支援部分)の一環として開催することで、「地域全体での課題解決」を一層推進させていく。

【イベントについて】

日時:2026 年(令和 8 年) 1 月 23 日(金) 14:00~17:30

(終了後に交流会:希望者、会費制)

場所:信州大学 OVIC(オープンベンチャー・イノベーションセンター:上田市踏入 2-16-24)

対象:長野県内の企業・団体の人事・総務担当者

内容:●長野県の学生・若手社員の就業意識調査の報告

●地元企業 3 社による実践事例の紹介

●グループディスカッション

参加費:AREC・Fii プラザ会員は無料。それ以外は 20,000 円(税別)

詳細や最新情報は、以下 URL を参照。

【AREC】

<https://arecplaza.jp/archives/2711>

【地域人材バンクながの(運営:AREC)】

<https://jinzaibank-nagano.com/event/30674/>

【本イベントの特徴や期待される効果】

【POINT その 1】

長野県の学生・若手社員の就業意識調査報告(30 分間)

経済産業省関東経済産業局との議論のもと、AREC が日本電気株式会社(NEC)と連携し、地域の若年層の県外流出や企業の人材不足などの課題に対応するため、学生および若手社員を対象とした就業意識に関するアンケートを実施。県内 11 校の学生と県内企業の若手社員、計 525 名もの声が集まり、NEC が独自に分析した調査結果を報告する。地域企業における人材確保・採用戦略の検討に役立つ資料として、活用が期待される。

【POINT その 2】

地元企業 3 社による実践事例の紹介(30分間)

各社が採用・育成・定着に関し、悩みや失敗をふまえて取り組んできた実践事例を、具体的に紹介する。業種や観点が多岐にわたるため、参加者の検討のヒントになると考えられる。

- 株式会社中村体育(上田市、各種体育施設の設計・製造等):
事業展開を見据えた「高校生・I ターン新卒」採用戦略を説明。
- 株式会社宮下組(上田市、建築・土木):
新卒社員・在籍社員、ともに重視する取り組みを説明。
- 上田信用金庫(上田市、金融):
兼業・副業人材の顧客企業への紹介活動(実績 39 社)を説明。

【POINT その 3】

グループディスカッション

前は 40 分だったが、高評価を受けて今回は時間を長く取り、3 段階で行う。

- (1) 「POINT その 1」の報告内容をもとに、若手の価値観や傾向の理解や、自社の採用・定着に活かせるようなヒントの整理を行う(30 分間)。
- (2) 「POINT その 2」の事例紹介の内容も加えて、自社で取り入れたい採用・定着施策のアイデアを出す(25 分間)。休憩をはさみ、挙げたアイデアを自社で実践するための具体的な方法や工夫を整理する(55 分間)。

いずれも、特に発表の形を取らないため、参加者は気軽に意見を出すことで他の参加者との双方向の学びにつなげ、自社の課題のヒントを得て役立てていくことが期待される。

【本イベントの開催に関し、担当者の意見】

上田市では、令和 5 年に製造品出荷額が 6000 億円を突破しました。この数字は地域産業の力強さを示す一方で、今後さらに成長を続けていくためには、安定した人材の確保と育成が

不可欠であると私たちは強く感じています。

製造品出荷額の伸長は、企業の成長だけでなく雇用の増加につながり、雇用の創出は地域住民の定着や人口流出の抑制にも寄与します。つまり、人材確保は企業の課題であると同時に、地域全体の未来を左右する重要なテーマです。

AREC では、こうした課題意識のもと、人材確保・育成支援の取り組みとして、年に 2 回、地域の将来を支える重要なイベントを開催しています。9 月に実施する「学就職担当者企業間の情報交換会」と、今回開催する本イベントは、地域の人材確保・育成を推進するうえでの二本柱となる取り組みです。

両イベントは、人材の入口づくりと現場力の強化をそれぞれ担い、相互に補完し合う重要施策として位置づけております。

昨年の参加者からは、「地域全体で課題に取り組むという考え方や動きが具体的にあるのだと実感でき、実現できるかもしれないと思えたことは刺激になった」「他社の人事担当者とグループディスカッションを行いながら情報交換でき、企業間で共通する課題を共有し、他社の具体的な取組を直接聞いたことが大変有意義だった」といった声を多くいただきました。

一方で、「ディスカッションの時間が短く内容が薄くなってしまい残念だった」というご意見も寄せられました。そこで今回は、グループディスカッションの時間を拡充し、単なる情報交換にとどまらず、参加者一人ひとりが自社に持ち帰り、明日から現場で動かせる具体的なアクションを考え、地域全体で課題に取り組むという意識の醸成を目指します。

企業の枠を越えて知恵を出し合うことで、地域全体の人材課題の解決につながり、その積み重ねが長野の持続的な発展に結びつくと信じ、本イベントを遂行します。本年度からは特に、上田市産業振興部地域雇用推進課による「若者・移住者・学卒者の就職支援事業」(学卒者支援部分)の一環として、地域活性化の観点でもイベント内容をブラッシュアップしました。ぜひ、お気軽にご参加ください。

一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター 尾島

以上